

「テレワーク川柳」 作品解説

【社会】

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックイヤー。海外からも多くの来訪者が見込まれる中、政府は、オリパラ期間中の交通混雑対策として、テレワークの実施を呼びかけ、「テレワーク・デイ（ズ）」施策を行ってきました。

「混雑の 緩和も立派な 「お・も・て・な・し」」

「我が社でも 五輪支える テレワーク」

「マラソンは ワークーションして 観ようかな」

いよいよその真価が問われる年。多くの企業・団体の協力が期待されるところです。

去年は台風や大雨で各地に甚大な被害がもたらされました。大都市圏で「計画運休」が行われ、駅に人が溢れるなど、交通機関の混乱も発生。「台風テレワーク」という言葉が新聞紙面を賑わすなど、悪天候や災害時のテレワークの有効性が脚光を浴びた年でもありました。

「テレワーク 計画運休 はいどうぞ」

「悪天候 通常運行 テレワーク」

最早、かつてのように「這ってでも会社に出てくる」ことが美德とされる時代ではなく、社員の利便性や体調面を考慮した弾力的な勤務が求められる時代になってきたと言えます。

「『会社来い』 ハラスメントの 時代かも」

「なんのため 出勤するのか 問われてる」

かつては、平日に家でテレワークをしていると、ご近所の方に「失業したのではないか」と思われなにか心配したのですが、最近は世間の見方も変わってきたようです。

「ご近所が 起業ですかと 聞いてくる」

令和の新時代になり、人々の働き方に関する意識も明らかに変わってきているように思えます。

「テレワーク川柳」 作品解説

<コラム① 悪天候・災害時のテレワーク>

昨年の入賞作品に「大人たち 会社行くのは 思い込み」
(チコちゃん(5さい))という作品がありました。

どんな悪天候でも交通混雑の中でも会社に行くことが果たして適当なことなのか、私たちは今一度考えてみる必要があります。BCP(事業継続)の観点からもテレワークは見直されています。

テレワーク
計画運休
はいどうぞ
まこっちゃん

悪天候
通常運行
テレワーク
むーむー

台風で
上司4時起き
俺7時
山宗雲水

成果出る。
台風、大雪、
猛暑でも
電気ロック

非常時も
帰宅難民
なりはせぬ
財政猫

災害時
命を守る
テレワーク
ゆきだるま



「テレワーク川柳」 作品解説

【多様な働き方】

政府をはじめテレワーク業界関係者がテレワーク普及推進の必要性を説明する社会的背景としてよく使うのは、少子高齢化に伴う労働力人口の減少です。

厚生労働省雇用政策研究会が2012年8月にまとめた報告書によると、2010年から2030年までの20年間に、もし何ら対策を打たなかった場合、日本の労働力人口は950万人減少するとされました。

この数字は様々な例えで説明されます。

950万人というのは、日本の製造業に従事する全ての労働人口に相当するものです。

また、1年間で平均約50万人が減少する計算になりますが、これは鳥取県の人口にほぼ匹敵する数字となります。毎年鳥取県1県分の労働力人口が減っていくという状況な訳です。

そこで、テレワークによる働き方改革、多様な人材が活躍できる社会の実現が求められるのです。育児や介護と仕事の両立、障がい等で通勤できない方や高齢者の活用などが期待されます。

「定年を ぐぐっと伸ばす テレワーク」

「人生百年時代」と言われる中、年長者の方々の持つ様々な知見やスキルを活かすことは企業にとってもメリットがあります。

ある建設土木会社では、建設現場で作業する若手社員が作業の様子を本社ビルにカメラ映像でライブ中継し、本社ビルにいる年配の社員たちが映像を見ながらアドバイスや指示等を行うという取組も行っています。年長者の負担が少ない形でそのスキルを後輩たちのために末永く活かすことが出来る素晴らしい取組ですね。

「テレワーク川柳」 作品解説

【上司部下】

「ライフコース多様化とテレワーク部会」では、「テレワーク川柳」などの媒体を通じて、企業等における「粘土層」や「岩盤層」の存在を指摘して参りました。

テレワークの導入や推進を成功に導くためには、こうした古い価値観や既存のやり方に固執する人たちにテレワークを実践してもらい、その効用等を体感してもらうことが、一つの鍵ともなりますね。

前述のとおり、台風等で交通混乱があらかじめ予測できるような場合は、会社全体でテレワークの実施を前もって決定するなどの対策が有効です。

「台風で 上司4時起き 俺7時」

「とにかく出社しなければ」と早起きして電車に乗ろうとする頭の古い管理職層の意識を変えていくことも必要ですね。

テレワークは、部下を管理・評価し、組織をマネジメントする管理職にとっては、自らの力量を試されるものとなります。いかに部下の業務を把握し適正に評価できるか、離れた部下と迅速かつ適正なコミュニケーションを取りパフォーマンスの高い業務を遂行していくか。

「部下自宅 上司の力量 よく見える」

部下にとっては自律が求められ、上司にとっても力量が問われます。テレワークは便利な反面、厳しさも求められるものです。

こうした努力の先には、経営層が率先してテレワークに取り組み、生産性を向上させていく企業が増加する、そんな社会が広がっていくのではないのでしょうか。

「茶の間から 出した指令に 社が動く」(準グランプリ賞)

こんな時代が当たり前になっていくと良いですね。

「テレワーク川柳」 作品解説

【働き方（仕事）】

テレワークは、多くの企業にとって、導入にあたっての心理的な壁があるように思われます。「我が社はテレワークに適していないのではないか、無理なのではないか」というような。思い切ってやってみたら意外と上手くいくということもあるものです。その第一歩を踏み出せるかどうかが大事です。

「在宅を する前不安 やってファン」

「やる前の わが社じゃ無理を 自主返納」

「やってみた。 ホントにどこでも 働けた。」

そして、実施する場合は、全ての社員がその目的を理解ししっかり自己管理しながら取り組みことも重要です。結果を出すためにも業務目標の設定や自己管理は欠かせません。

「テレワーク スクラム組んで トライする」

「テレワーク はじめの一步 自己管理」

「テレワーク 顔を出さずに 結果出す」

「成果出る。 台風、大雪、 猛暑でも」

他方、テレワークを導入しようとして上手くいかない企業のよくある例として、社員、特にITリテラシーの低い中間管理層がシステムやツールを上手く使いこなせないことがあります。

「モバイルの やり方わからず 出勤し」(グランプリ賞)

こうしたことのないように、事前に十分な研修を行ったり、サポートデスクを設けたりすることも良い取組です。

「コンペ前 音読できる テレワーク」

テレワークで周囲に人がいない状況の中で仕事が出来れば、遠慮せずに声を出してプレゼンの練習も出来ますね。

「久々に 会社に来たら 迷ってる」

恒常的にテレワークを行う人はあまり会社に来ることもなく、ひょっとしたら社内で迷うようなこともあるかもしれませんね。

「テレワーク川柳」 作品解説

【働き方（職場）】

昨今、「ワーケーション」という言葉がマスコミでよく使われるようになってきました。これは、「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語で、企業の人々が地方のサテライト施設等に比較的長期に滞在して働いたり、出張先での休暇や旅行先などでの仕事を認める制度を言います。

例えば、家族で計画していた旅行期間中に急な会議が入ってしまった場合、通常はそれに参加するために旅行を断念していたケースでも、会議の時だけ旅行先から遠隔参加することで、仕事も旅行も両立することができますし、年末の帰省ラッシュの少し前に帰省して現地でテレワークすることで、故郷での滞在期間も長くなり、故郷の親や友人との交流やボランティア活動、趣味の時間など有意義な時間を過ごすことも期待できます。

「ふるさとと 絆深める ワケーション」

企業として、社員教育や研修の一環として自然豊かな地方で環境を変えて仕事をする機会を設けたり、現地での様々な体験を通じて創造を生む効果を期待するケース、また、自治体や企業間での共創や連携活動なども徐々に盛んになってきました。

「テレワーク 都会と田舎 ワンチーム」

「虫の声 川の音ある テレ会議」

地方創生が叫ばれて久しいですが、こうした活動の鍵を握るのは、地元への愛、仕事をしたいという思い、地域に溶け込もうという思い、など関係者の熱い思いなのだと感じます。

「トイレ五歩 出勤三步 我が職場」

テレワークの大きなメリットは、通勤時間がないことから、その分、他のことに時間を使えること、精神的にも肉体的にも負担が軽減されることです。これは全ての社員に当てはまるメリットですし、その効果を是非活かしていきたいですね。

「テレワーク川柳」 作品解説

<コラム② ワークेशन・地方創生>

最近、ワークेशनなどの地方創生の動きや、シェアオフィス等のサテライトオフィスの活用による人々の交流や協業など、地方や都会でのテレワークの様々な態様が広がっています。

都会へは
行かず地元で
テレワーク
ろんちゃん



Uターン
同じ企業で
テレワーク
オリンポスのかみかみ

都市と地方
SOHO(双方)メリット
テレワーク
博之介♪



サテライト
異業種交流
生む空間
笑わない男



テレワーク
今日はハワイで
明日はタイ
オリンポスのかみかみ

「テレワーク川柳」 作品解説

【コミュニケーション】

「ライフコース多様化とテレワーク部会」では、様々な企業を訪問して取組のご紹介を頂いているのですが、そうした中で分かるのは、実は、IT系の先進的な企業ほど、社員のコミュニケーションを重視していることです。

仕事をしていくうえで社員相互間の価値観の共有や信頼関係の構築が非常に重要だということが改めて伺えます。彼らは、IT技術も駆使して業務を行っていきませんが、上司と部下との「1 ON 1 ミーティング」など対面の会話も重視しています。

テレワークにおける大きな課題は、コミュニケーションの問題と言われます。対面であれ、IT技術を駆使したものであれ、人と人が上手くコミュニケーションを図り、意思疎通を図ったり業務の見える化を行ったりすることで、円滑なテレワークを進めていくことが出来ると言えましょう。

「令和だし 始業の礼は 画面越し」

そうしたIT企業の一つで、毎朝必ず「朝会」を遠隔地間でWEB会議で行っている企業があります。各人の体調などについても共有化することで、社員が自分が組織の一員として安心して働くことが出来るよう配慮しているそうです。画面越しの朝礼にしる対面の朝礼にしる、問題は心と心が通じ合っているか、ではないでしょうか。仕事をするのはあくまで人間です。

「タピオカを 吸いつ送信 テレワーク」

テレワークを行うことで、美味しいコーヒーを飲みながら、あるいはおやつを食べながら、リラックスした気持ちで仕事をすることも可能となります。会員制シェアオフィスなどでは、コーヒー飲み放題だったりおやつ食べ放題だったりして、つい過食気味になってしまう方もいるのでは。カフェでタピオカを飲みながらメールを送ったりすることもあるのでしょうかね。

「テレワーク川柳」 作品解説

【育児・介護】

「ライフコース多様化とテレワーク部会」では、メンバーの多くは介護世代に差し掛かってきており、介護と仕事の両立、あるいは具体的な介護の在り方は大きな関心事になってきています。これまでも具体的な介護と仕事の両立事例を見る中で、ケア・マネージャーなど専門家の力を上手く使いながら、自分の仕事のスケジュールをマネジメントしている例なども知ることが出来ました。

育児や介護のほかにも、働き方の多様な様態、例えば、入院する親や親戚の方などをお見舞いした際に院内でテレワークを行う可能性などについてはメンバーも関心を持っているところです。院内テレワークについては、テレワークの講演をよく行われる企業の方が、自らが「育児、介護、そして自身が病気で入院のトリプルケア状態」の中、病院とも調整を行った結果、病院に入院中でもテレワークをすることが可能となった、というお話を聞かせてくださったことがありました。

「父見舞う 病院からでも ONE TEAM」

入院患者自らの院内テレワークの実施については、まずは安静にして治すことが優先との意見もありますので、慎重な議論が必要ですが、お見舞いなどで待機している時間等におけるテレワークについては、病院の機器等に影響を及ぼさないなどの条件が満たされるのであれば、一つの可能性を示すものと思われます。

いずれにしても、少子高齢化社会が進む中、育児や介護と仕事の両立や多様な働き方へのニーズはこれからも益々高まっていくと思われますので、テレワークがその架け橋になっていけるとよいですね。

「テレワーク川柳」 作品解説

【家庭】

働き方改革を語る時、「ワーク・ライフ・バランス（ないしライフ・ワーク・バランス）」という言葉がよく使われます。テレワークは、仕事と家庭生活を両立させ結びつける貴重な存在です。日頃、仕事の顔しか見せない方の思わぬ家庭生活での顔を知って微笑ましく感じる瞬間もあるかと思います。

家族との交流や地域での顔など、テレワークは豊かな生活や人生を育む大きな力にもなりますね。

「参観日 隣のママも テレワーク」

テレワークで時間をやりくりして参加した子供の授業参観。隣の方に話しかけてみたら、その方も同じテレワーカー。思わず親近感が倍増ですね！

「テレワーク 助かりますよと 宅配便」

テレワークは、実は宅配業界にとっても大きな味方。外出中で再配達になることが減り、宅配業者の方も嬉しい状況ですね。

「パパっ子に 娘を変える テレワーク」

これまでは帰宅が遅く、愛する可愛い娘さんとの交流も少なく寂しい思いをしていたお父さんも、自宅で仕事をするとう娘さんとの親密さも深まり、こんな嬉しいことはないですね。

「テキパキと 仕事のノウハウ 子も覚え」

テレワークをしている親の姿を、陰から子供は見て、真剣な眼差しや仕事の進め方に学ぶことがあるかもしれませんね。

「テレワーク 妻が気にする 戦力外」

旦那さんが家で仕事をするようになると、つい妻は心配になるかもしれません。きちんと事情を話し納得してもらうことも家族の安心にとっては大事なこともかもしれませんね。